



こころざし

【学校教育目標】
夢の実現に向かって たくましく
挑戦する児童生徒の育成

唐津市立加唐小中学校

第 9 号

令和6年9月3日発行

文責 校長 多久島 一仁

2学期がスタートしました

8月26日（月）から、2学期がスタートしました。ここ数年は教室にエアコンが入り、授業時数確保のため、8月から授業が始まるようになっていきます。しかしながら、連日の猛暑で、もう少し夏休みがほしいと感じている子どもたちも多いのではないのでしょうか。

夏休み中は、松島除草作業、加唐島除草作業、島民レクレーション大会がありましたが、どの行事にも児童生徒、保護者の皆様、島民の皆様のご参加をいただき、ありがとうございました。除草作業では暑い中でしたが、それぞれの島がきれいになりました。また、島民レクレーション大会の夏の開催は5年ぶりでしたが、今回は去年よりも1チーム多い、4チームでのミニバレーボール大会となりました。どのチームも1セット以上を取ることができ、熱い戦いと熱い懇親会を行うことができました。

また、学校行事ではありませんでしたが、8月20日（火）～21日（水）に行われた5年生対象の鎮西町体験活動に、5年生児童が参加しました。これは、鎮西町体験活動実行委員会（鎮西公民館）が主催し、打上小14名、名護屋小14名の児童と一緒に活動でした。内容は、野外炊飯（飯ごう炊飯によるカレーライス作り。薪割など。）、タベの集い、カッターボート体験などでした。大勢の児童の中での活動でしたが、自己紹介や学校紹介も堂々と、し



かもその場で考えて話すことができ、他の学校の先生も感心されていました。校歌の紹介では、山下公民館長さんと一緒に披露することができました。学校以外の、しかも知らない人が大勢いる場でもしっかりと自分を表現できたのがすばらしいと思いました。

始業式では、私から出した夏休みの宿題「島の人に会ったらあいさつをする」ができたかどうか、尋ねました。だいたいできていた子どもたちが多かったのですが、もっと頑張りたいと答える子もいました。期待したいと思います。

2学期は多くの行事があり、最も充実する学期だと思いますが、その中で、右に示したようなことを頑張ってもらいたいと話しました。例えば、唐津青翔高校での韓国学習では、

- ・高校生と話せるようになる。
- ・韓国のことについて、人に話せるようになる。
- ・韓国語を覚えて、あいさつできるようになる。
- ・韓国の他の王について調べてみる。

といったことを意識したり目標にしたりしてほしいということです。そうしたことを考えて臨むことで、より充実した学習になると思います。

子どもたちが主体的に取り組み、周りとは対話しながら、学びを深めていく2学期にしていきたいと思います。

どうする2学期？

- ぎょうじ い み
- ・行事に意味をもたせる

ぶんかめん がくしゅうめん じゅうじつ

 - ・文化面・学習面での充実を

こうりゅう たいせつ しょう ちゅう こう

 - ・交流を大切に（小・中・高）

交通安全・防犯教室がありました

8月27日（火）に唐津警察署の江頭さんと小川島駐在所の内山さんにお越しいただき、交通安全・防犯教室がありました。

初めに、江頭さんが手錠や警察手帳などを見せられましたが、これには子どもたちもかなり興味を示していました。

次に、DVDによる交通安全についての動画とお二人による講話がありました。

小中学生の事故原因については、①交差点と②坂道の二つがありました。加唐や松島も狭い道から広い道に出る交差点がいくつもあり、坂道だらけなので、陸部だけのことではないなあと思いました。このDVDの中で何度も出てきた言葉が「一時停止」でした。江頭さんが、「あのとき、もうちょっとああしとけばよかったということがないようにしてほしい」という話をされていましたが、まさに、一時停止を心掛けるだけでかなりの事故が防げるのではないかと思います。

また、時速15kmで走る自転車がブレーキをかけても3m50cmも進み、時速30kmで走る自転車がブレーキをかけても8m20cmも進むということを知り、まさに「飛び出すな、車は急に止まれない！」だなと感じました。

防犯については、内山さんから、外に出たときには、①お父さんやお母さんの言うことをきく、②怪しい人から声を掛けられたら店の人や近くの人に言うことが大切だと話されました。勇気を出すことが防犯につながるということなので、声を出すことを心掛けてほしいと思いました。

今回聞いたことを心に留めて、これからも、事故や犯罪に巻き込まれることがないような生活をしていきましょう。

